

2022年3月期第2四半期（累計）

（2021年4月1日～2021年9月30日）

決算参考資料

2021年 11月12日



東証・名証1部上場 証券コード：9900

1. 連結対象企業の事業内容	-3-
2. 新型コロナウイルス影響下における進捗状況	-5-
3. 店舗展開の状況	-6-
4. 2022年3月期第2四半期（累計）業績概況	-8-
5. 財政・キャッシュフローの概況	-9-
6. 第2四半期（累計）のトピックス	-10-
7. 2022年3月期について	-15-

連結対象企業の事業内容



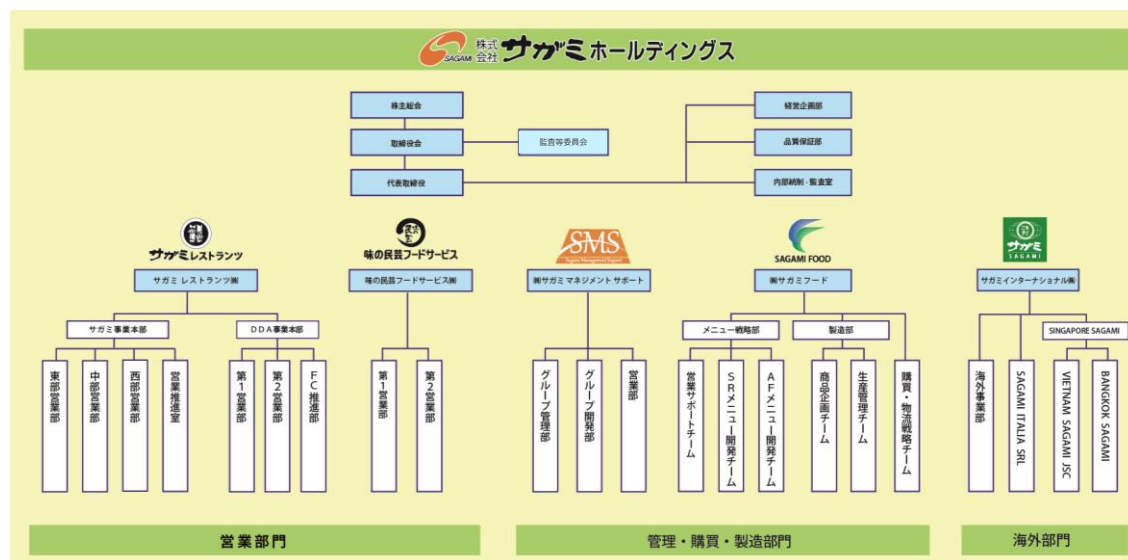
連結対象子会社一覧

名称	住所	資本金又は 出資金	当社の 出資比率	事業の内容
サガミレストランツ株式会社	名古屋市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミマネジメントサポート	名古屋市	10,000,000円	100.00%	グループの管理業務 店舗設備のメンテナンス業務
株式会社サガミフード	名古屋市	70,000,000円	100.00%	食材の仕入・製造業務 輸出入業務
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	100.00%	海外事業の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	5,250,000米ドル	100.00%	海外事業（ASEAN）の統轄
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	Thailand	4,000,000バーツ	69.09%	飲食店の経営
NADEERA GLOBAL CO.,LTD.	Thailand	600,000バーツ	49.00%	関係会社への投資
VIETNAM SAGAMI JSC	Vietnam	6,490,600,000ドン	100.00%	飲食店の経営
SAGAMI ITALIA S.R.L.	Italy	730,403.08ユーロ	51.00%	飲食店の経営

連結対象企業の事業内容

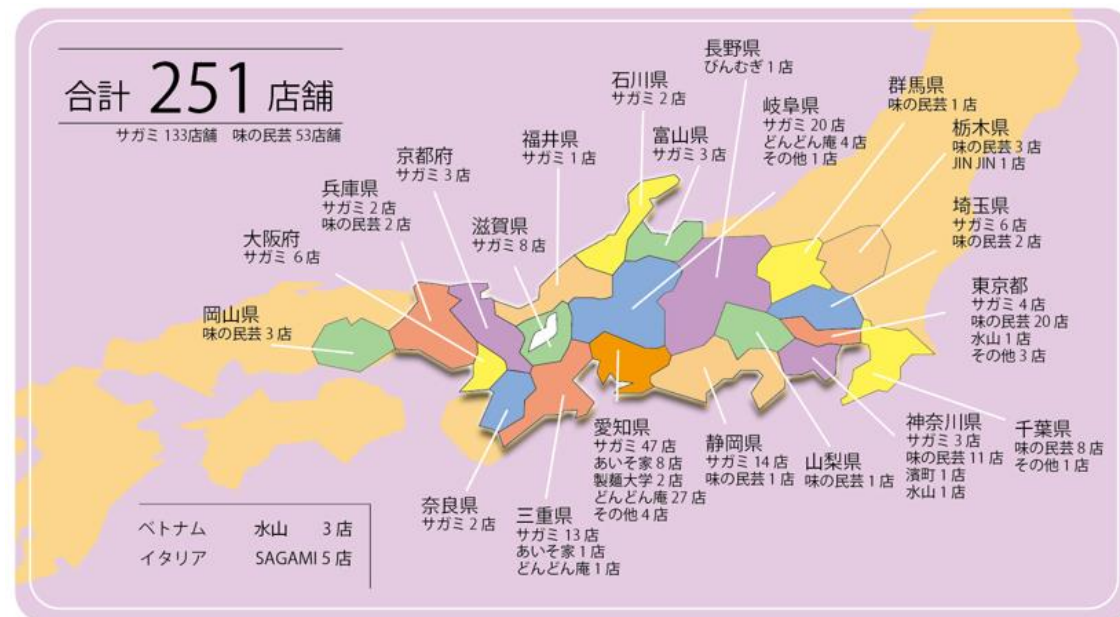


サガミグループ組織図

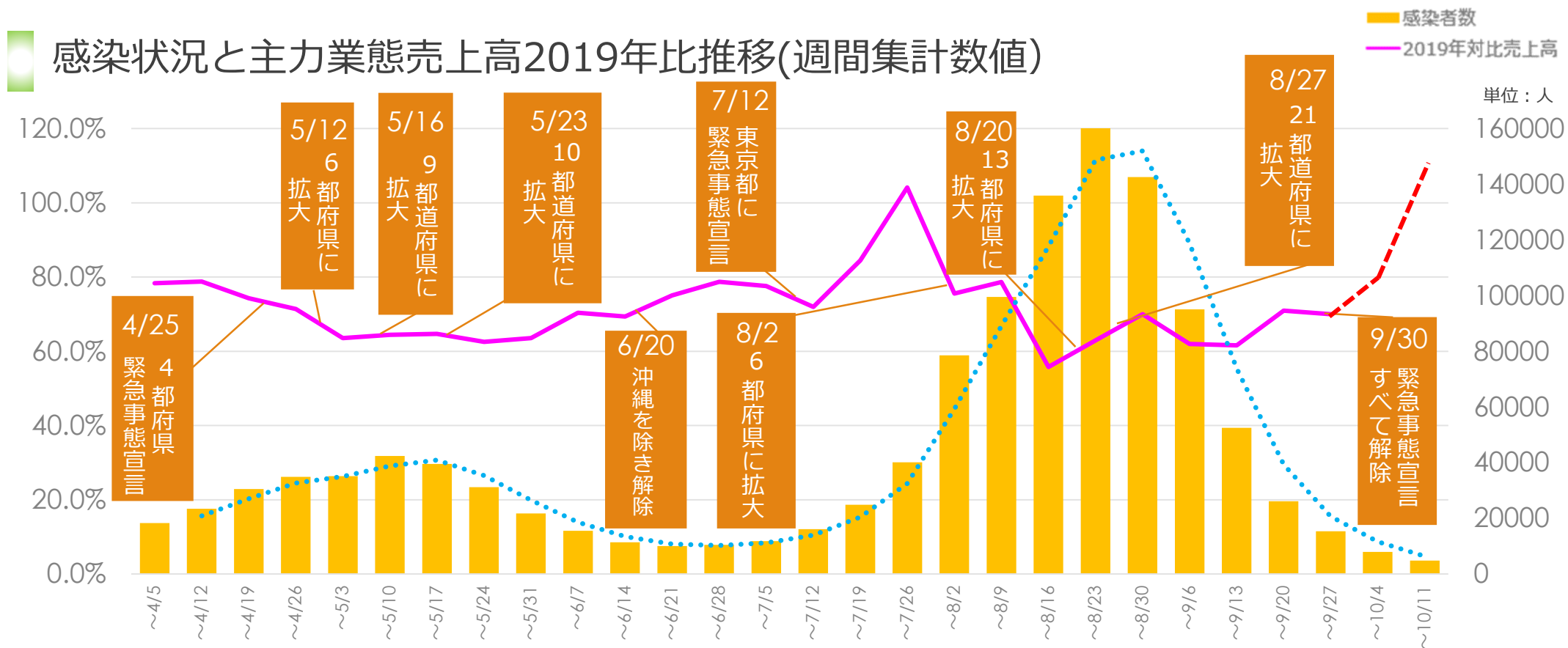


- ◆ サガミレストランズ株式会社は、主に和食麺処サガミ業態、どんどん庵業態、かつたに業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態、あいそ家業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミマネジメントサポートは、主に管理業務を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフードは、主にメニュー開発、食材の仕入・製造を行っております。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、主にASEANで事業の統轄を行っております。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、主に海外事業展開の統轄を行っております。

地域別店舗分布



新型感染症影響下における進捗状況



◆ 愛知県コロナウイルス感染防止対策実施期間 ■ 緊急事態宣言 ■ まん延防止等重点措置 ■ その他感染防止対策



➤ 感染者数拡大に伴う集客への甚大な影響は継続したものの、全面解除以降、堅調に推移

店舗展開の状況

	2021年 3月期	2022年3月期 計画			2022年3月期 第2四半期		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麺処サガミ	133	3	2	134	1	-	134
どんどん庵（FC店舗含む）	33	1	-	34	-	1	32
味の民芸（FC店舗含む）	52	-	-	52	-	-	52
団欒食堂あいそ家	9	-	-	9	-	-	9
ぶぶか	2	2	1	3	1	1	2
ごちたく（宅配専門店）	2	2	-	4	-	-	2
その他国内店舗（FC店舗含む）	14	-	4	10	-	2	12
海外 ベトナム	3	1	-	4	-	-	3
海外 イタリア（FC店舗含む）	3	1	-	4	2	-	5
合計	251	10	7	254	4	4	251

- ◆ 業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。
- ◆ 海外店舗は、業績数値反映期間を2021年1月期～12月期としておりますが、店舗数等の説明に関しましては、国内の累計期間に合わせ、2021年4月期～2021年9月期の状況にて記載しております。

店舗展開の状況

国内店舗展開

- ◆ 和食麺処サガミ業態
2021年7月に「宇治東店」を開店いたしました。
世界遺産にも登録されている平等院が程近くにあり、テイクアウト専用サンプルケースの設置や、個室を7席設置するなど感染対策による「安全安心な店舗」をテーマとしております。
これにより、当第2四半期末の店舗数は134店舗となりました。
- ◆ その他業態
2021年8月に「ぶぶか 西台店」を開店いたしました。
2021年8月に新宿紀伊国屋ビルの耐震補強工事により、「JINJIN 新宿店」、「水山 新宿店」、「ぶぶか 新宿店」を閉店いたしました。



海外店舗展開

- ◆ イタリア
2021年6月に「SAGAMI Parma店」を、7月に「SAGAMI Siena店」をFC店舗として開店いたしました。
これにより、イタリア国内で5店舗体制となりました。



以上により、2021年9月末のグループ店舗数は、国内243店舗、海外8店舗の計251店舗であります。

2022年3月期第2四半期（累計）業績概況



連結ベースの経営成績

(単位：百万円/円)

	2021年3月期 第2四半期（累計）	当初計画 第2四半期（累計） (2021.5.13発表)	2022年3月期 第2四半期（累計）	当初計画 差異
売上高	9,504	12,140	9,805	△2,335
営業利益	△1,299	100	△561	△661
経常利益	△1,281	107	451	344
当期純利益	△1,392	50	363	313
一株あたり 当期純利益	△52.85	1.88	12.63	10.75

財政・キャッシュフローの概況

連結財政状態

単位 (百万円/%)	2021年3月期	2022年3月期 第2四半期 (累計)
総資産	20,895	22,740
純資産	11,395	14,217
自己資本比率	54.4	62.5

連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2021年3月期第2四半期 (累計)	2022年3月期 第2四半期 (累計)
営業活動によるキャッシュフロー	△1,276	650
投資活動によるキャッシュフロー	△20	△408
財務活動によるキャッシュフロー	2,745	1,875

- ◆ 設備投資について
連結設備投資は378百万円（2021年3月期第2四半期累計実績115百万円）となりました。
- ◆ 減価償却費について
減価償却費は192百万円（2021年3月期第2四半期累計実績251百万円）となりました。

第2四半期（累計）のトピックス①

サガミホールディングス

- ◆ 新市場区分「プライム市場」適合について
2022年4月実施予定の市場区分の見直しにおいて、株式会社東京証券取引所より「プライム市場」に適合との通知を受領いたしました。
今後も株主の皆様へ支持されるよう努力を続けていくとともに、地域社会への貢献、ガバナンスの強化に引き続き取り組んでまいります。



- ◆ 名古屋証券取引所上場30周年記念優待の実施
2021年9月4日に名証上場30周年を迎えました。
これもひとえに株主の皆様をはじめとするお客様、関係各位のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。
株主の皆様の日頃からのご支援に感謝の意を表しますとともに、名古屋証券取引所上場30周年を記念し、記念優待を実施させていただきます。
これからも「食」の感動や楽しさ、「職」の喜びと幸せを創造し、多くのおみなさまの笑顔に出会えるよう取り組んでまいります。

- ◆ SDGs（Sチャレンジ2021）の取り組み
従来から取り組んできたESGの取り組みを深化させ、当社にできる範囲で、SDGs17の項目すべてに対して取り組みを進めております。
2021年8月から、循環型CO2削減への取り組みとして和食麺処サガミ3店舗にて使用済み天ぷら用油をバイオディーゼル燃料にリサイクルし、その燃料にて、配送を行う循環型廃油リサイクルの取り組みを開始いたしました。



第2四半期（累計）のトピックス②

サガミレストランツ（サガミ事業本部）

◆ モーニング営業実施店舗の拡大

9月より、愛知県全店にてモーニング営業を開始いたしました。これにより、モーニング営業実施店舗数は、54店舗となりました。感染症影響による消費行動の変化に対応するとともに、営業時間短縮・効率化に対するパートナーの雇用確保を目的としております。今後も、地域に根差した取り組みを進めてまいります。

◆ デリバリー実施店舗の拡大

昨年より、引き続き拡大してきたデリバリー実施店舗も70店舗に拡大いたしました。感染症影響の収束後も、一定の需要は継続すると考えているため、今後も継続し、取り組みを強化してまいります。また、一部店舗においては環境配慮の観点より、電動バイクを導入し、お客様に美味しさと地球環境には、優しさをお届けできるよう取り組んでおります。

◆ 配膳ロボット（Servi）の試験導入

感染症影響の中、非接触が好まれる外食環境において、おもてなしが必要な場面以外をロボットが介在することで従業員とお客様との不要な接触時間を削減し環境改善等に繋げ行くことを目的に試験導入を開始いたしました。

◆ サガミ夏の大感謝祭

2021年7月16日（金）～23（祝）の8日間、恒例となったお客様感謝企画として『サガミ夏の大感謝祭』を開催いたしました。人気の商品をお値打ち価格で提供し、ご来店いただいたお客様には10%OFFのお食事値引券をプレゼントいたしました。



第2四半期（累計）のトピックス③

サガミレストランツ（DDA事業本部）

- ◆ どんどん庵業態について
 - ・ どんどん庵業態では、4月26日（月）～5月5日（水）までの10日間、コロナ禍での販促企画実施を考慮し毎年春に実施していましたが恒例企画の『どんどん祭』を中止し、ご来店が分散できる『GO!どんクーポンキャンペーン』を実施いたしました。人気のカレーうどんや牛肉うどんなど、チラシのクーポン券持参でお値打ちにお召し上がりいただける販促企画で開催期間中、お食事値引券をプレゼントいたしました。
- ◆ かつたに業態について
 - ・ テイクアウト需要に強い業態として、緊急事態宣言下では、店内のオーダーストップ後もテイクアウトのみで夜21：30まで営業を行ってまいりました。テイクアウト販売では多くのお客様にご支持いただいた事もあり、テイクアウト比率は35%まで高まっております。今後は年末年始の需要を見込み、個食商品だけではなく、オードブルなどの大皿料理の販売も始め、更なる売上拡大を目指してまいります。
- ◆ 新業態そば専門店「かき揚げ十割そば 長助」出店について（2021年10月）
 - ・ かねてより、開発を進めてまいりましたセルフ十割そば業態を出店いたしました。「そば」はつなぎを一切使わない100%そば粉の十割そばで、味や風味を徹底追求。より多くのお客様に「本物のそばのおいしさ」を味わっていただくために、セルフサービス形態を取り入れ、よりリーズナブルな価格設定を実現し商品提供をいたします。

かき揚げ十割そば
長助



第2四半期（累計）のトピックス④

味の民芸フードサービス

◆ 味の民芸業態について

味の民芸業態では、2021年7月21日（水）～8月9日（月）の20日間、お客様感謝企画として『夏の大感謝祭』を開催致しました。人気の手羽先、串カツに加え、お土産商品の長生うどん、めんつゆをお値打ち価格で提供致しました。本年度はコロナ禍における環境を考慮し、例年の約3倍の開催期間と致しました。

また、コロナ禍における新たな販売チャネルの拡大として、自社配達の宅配実施店舗を拡大しました。都市部に位置する一部店舗においては環境に配慮し、バイクを使用せず、電動アシスト付き自転車で宅配を行っております。

◆ 小型業態について

新宿紀伊国屋ビルの耐震補強工事施工に伴い、同ビルに入店していた、ジンジン「新宿店」、水山「新宿紀伊国屋店」、らーめん専門店ぶぶか「新宿紀伊国屋店」の3店舗を2021年7月15日（木）の営業をもちまして閉店致しました。ジンジン「新宿店」におきましては、1970年のオープン以来、約50年にわたりご愛顧をいただきました。

また、2021年8月2日（月）には、らーめん専門店ぶぶか「西台店」を東京都板橋区にオープン致しました。同店は緊急事態宣言下のオープンとなりましたが、計画比150%を超える売上高となっております。



第2四半期（累計）のトピックス⑤

サガミインターナショナル

- ◆ ベトナム事業
厳しい営業制限が続く中、徹底したコストコントロールを行いながら、社会隔離解除後の売上拡大を見据えて、SNSを通じたお客様とのコミュニケーションを継続しております。
人気メニューラインの拡充及び販促強化を行い、下期以降の黒字化に繋げてまいります。
- ◆ イタリア事業
6月に「SAGAMI Parma店」を、7月に「SAGAMI Siena店」を新規オープンし、イタリア国内で5店舗体制となりました。
コロナ禍の営業制限解除後の売上は右肩上がりを維持しており、直近はコロナ前と同水準まで回復しています。
また、引き続きテイクアウト及びデリバリーへの需要が高く、各店舗での販売強化を継続しています。
下期においては、売上拡大施策を基本とし、出店加速を図ってまいります。



2022年3月期について

連結ベースの業績予想

単位 (百万円)	2021年 3月期	2022年 3月期 (11.1公表)
売上高	20,344	21,700
営業利益	△1,689	△500
経常利益	△1,625	900
親会社株主に帰属する 当期純利益	△2,478	660

◆ 下半期につきましては、営業損益段階において61百万円の黒字を見込んでおります。

2022年3月期について

- ◆ 既存価値のブラッシュアップ
おいしさやおもてなしの向上、そして「食と健康」の追求と共に、テイクアウト・デリバリーに加え、モーニング営業実施店舗の拡大などにも積極的に取り組んでまいります。
また、お客様及び従業員の「安全・安心」のため、感染予防対策にも引き続き積極的に取り組んでまいります。
- ◆ リモデル&新フォーマット出店
既存フォーマットの見直しと新フォーマットを確立し、収益性を高めた新規出店モデル構築してまいります。
- ◆ CSV経営の推進
企業と社会の両方に価値を生み出す「共創価値」を向上させるために、ESG (Environment, Social, Governance) の取り組みを深化させ、SDGsの取り組みを推進いたします。
環境保全活動の推進、社会貢献活動の継続、ガバナンスの強化を進め、持続的な企業価値の向上を目指します。

ディスクロージャーポリシー (Disclosure Policy)



(1) 基本方針

サガミグループは、『私たちは、「食」と「職」の楽しさを創造し、地域社会に貢献します～すべては みんなのゆたかさと笑顔のために～』という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

(2) 情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム (TDnet : Timely Disclosure network) に登録し提供しています。

TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。

ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れる場合がございます。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

(3) 業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の実態に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

(4) 沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一カ月間を「沈黙期間」としております。

この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

(5) ディスクロージャー ポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任 (CSR)」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守いたします。